

# 全日本2連覇 依田新様インタビュー

皆様こんにちは。

インストラクター改め、インタビュアー牧子です。

今回のブログは、皆様へのクリスマスプレゼント企画です♪

全日本ベテラン選手権大会(1年間でランキング上位の選手だけが出られる大会)の50歳以上ダブルスでなんとこの度2連覇されました

大正セントラルテニスクラブ新宿が誇るナイター会員様

依田 新(よだ しん)様へのインタビューをお届けいたします!

実戦の中からのチャンピオンの生の声、どうぞお聴きください。

読み終わったらラケットを持ちたくなること間違いなしです!



## 2 連覇感想

- 牧子 「依田さん、全日本2連覇おめでとうございます！まずは、今大会で優勝された時の感想をお聞かせ下さい。」
- 依田さん 「今回は前回の初優勝に比べ、かなりプレッシャーがかかりました。」
- 牧子 「試合のどのあたりからプレッシャーを感じられましたか？」
- 依田さん 「私は初戦が苦手なので、1回戦目と準々決勝あたりが決勝よりもプレッシャーがかかりました。」
- 牧子 「去年全日本で優勝されてから、今回再度全日本で優勝されるまでの1年間はどうなお気持ちでしたか？」
- 依田さん 「前回の全日本から今回の全日本までいろいろな試合（全日本に出場するためのグレードの少し低い大会）で1度も負けなかったのが、負けに対するプレッシャーがありました。結果はストレート勝ち、1セットも落とさない試合ばかりでしたが、デュースのある大会で何回もデュースを繰り返すことになったので、とても長く感じる試合ばかりでした。」

# パートナーのを見つけ方！～vol.1～

- 牧子 「ダブルスの悩みどころになりますが、どのように今のパートナーを見つけられたのですか？」
- 依田さん 「同じナイター会員のIさんに誘われて試合に出始めたのがきっかけでした。Iさんは年代が違ったので（カテゴリーが合わなくなり）次は同じ年代の方とペアを組んでいたのですが、その方がケガで出られなくなってしまったので、幼稚園から幼なじみでプロを引退して5年くらい経ち偶然タイミングが合った彼（佐藤博康さん）を誘ったのがきっかけでした。」
- 牧子 「元プロのすごい方と試合に出られることになって周りの人達はかなり刺激を受けたのではないのでしょうか？」
- 依田さん 「彼は本来ベテラン大会に出るようなレベルではないのですが（元プロで強すぎるため）、彼が出ることによって「普段なら対戦できないことのない方とプレーができる」と周りのはりきって挑んでくる。ベテランのテニス界をかなり盛り上げたのではないかと実感しました。」

# パートナーの見つけ方！～vol.2～

- 牧子 「パートナーの見つけ方のコツはありますか？」
- 依田さん 「シングルス試合を見て決めたりします。」
- 牧子 「性格は似ている方が良いなどありますか？」
- 依田さん 「私の場合は性格が違う人を選びます。似ていると良い時は良いがダメな時はペアで立ち直れない、どちらかが持ち直せるほうが良いと思います。」
- 牧子 「ではプレースタイルも違う方が良いですか？」
- 依田さん 「良いと思います、例えばフラット系で打つ人とぐりぐりにスピンをかける人で組むとか。」
- 牧子 「なるほど大変参考になりました。皆様にもいいパートナーを見つけて頂きたいと思います。」

# 苦手な相手



- 牧子 「試合に出ている方は必ずあると思うのですが、苦手な相手と対戦するとき心がけていらっしゃることはありますか？」
- 依田さん 「苦手な相手というより自分の苦手なところを突いてくる相手が嫌ですね。だんだん試合に勝ち残るようになると対戦相手が同じ人になってくるので、自分の苦手なところはもう相手にばれているんですよ(笑)。まあ試合中はどうにもならないので、**普段の練習でやっておく事ですね。**大事なポイントでは必ずそこを相手はついてきますので・・・。それに**練習でできないことは試合では絶対できないですね。**」
- 牧子 「まさにその通りです！ドキッとします。皆様もうなづいていらっしゃるのではないのでしょうか。」

# 試合に勝つには

- 牧子 「スクール生や試合に勝ちたいのだけれどもなかなか勝てないという方に勝つコツを教えてくださいませんか？」
- 依田さん 「まずは得意なショットを軸に試合を組み立てる。得意なショットを沢山練習する。先程苦手なショットの練習の話でしたがそれはまだ先の話。皆さん全部練習したくなると思います。私がなかなか時間がとれなくて難しいと思います。私の場合はフォア（フォアハンドストロークのこと）が得意なのでフォアハンドを軸にプレーします。もしバックにボールが来たら仕方がないと割り切ります。試合中はなるべくフォアハンドに回り込みます（バックに飛んできたボールも動いてフォアで打つこと）。当然私もフォアを多めに練習をしております。もっと言うと良いフォアが打てればバックに来ない、もし来ても回り込んで打つことができポイントが取れる！」
- 牧子 「ダブルスでもフォアに回り込まれることが多いですか？」
- 依田さん 「はい、多いです。バックは無理して打ってもポイントにならない。リターンはバックで打つときはロブやスライスで返すことも多いです。そうしていると相手はバックをもっと狙いたくなり勝手にプレッシャーがかかり、ダブルフォルトをしたりミスが増えます。無理をしてでもフォアに回り込んで相手にみせるのも試合の技ですね。」
- 牧子 「まさに技ですね！大変勉強になりました！目に浮かぶような具体的なお話、大変参考になります。」

# 試合に出たことがない! ?

- 牧子 「最後に今まで試合に出たことのない方やしばらく出ていない方にメッセージをお願いしますでしょうか。」
- 依田さん 「試合に出ないとテニスがつまらなくなってしまうのではないのでしょうか？そして**試合にでない**と**テニスうまくなる**！（**試合に出たことがある方は結構刺さるコメントだと思います。**）去年から私は自分より上手い方とペアと組んで今まで勝てなかったような相手にも勝てるようになり、もう一段上のレベルの人達と対戦できるようになりました。テニスは上手い人とやると上手くなるのをとても実感しました。たとえ試合でなくても上手い人とテニスができる環境を作るのは大事 だと思います。」
- 牧子 「よく『練習してから試合に出ます』という声を耳にしますが、試合に出られている依田さんから何かアドバイスをいただけますでしょうか。」
- 依田さん 「練習してから試合というよりも**試合に出ちゃった方が良いです！**試合に出ると練習するところがよくわかると思います。例えば練習だと100%（全力）で打っている方も多いですが、試合でそんなことしてもコートにほとんど入らない。」
- 牧子 「確かにそうですね。そういうことがわかるのも試合ですね。」  
「依田さんは試合中はどのくらいの力加減ですか？」
- 依田さん 「私は60から70%ぐらいかな。100%で打っても入らないです（笑）。」
- 牧子 「なるほどまたまた参考になりました。本日は沢山質問に答えていただき誠にありがとうございました。」

# まとめ



以上、全日本2連覇の依田 新様へのインタビューでした。  
こんな方がこの大正セントラル新宿の同じコートにいらっしゃるとは！  
テンション上がりますね！  
実践に即した具体的でわかりやすいお話で、試合の情景が目に浮かぶようでした。  
またたくさんのアドバイスも頂き、今日からレッスンの意識も変わりそうですね。  
このインタビュー記事を通して皆様のテニスが少しでもレベルアップすることを  
願っております。  
自分も消化していきたいと思います。貴重な機会をありがとうございました。

今回のまとめは・・・「皆様、試合に出場しましょう！」の一言です。  
依田 新様、本当にありがとうございました。

★*Merry Christmas and Happy New Year!*  
*…and Let's enjoy tennis!!!*★

大正セントラルテニスクラブ新宿 牧子